

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
ディースファッション専門学校	昭和55年4月1日	校長 大橋 治子	〒600-8079 京都市下京区堺町通松原下ル鍛冶屋町254 (電話) 075-351-1497
設置者	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人 大丸クリエイターズアカデミー	昭和55年4月1日	理事長 公江 辰朗	〒600-8079 京都市下京区堺町通松原下ル鍛冶屋町254 (電話) 075-351-1497
目的	教育基本法及び学校教育法並びに私立学校法に従い、専修学校を行うことを目的とする。 ファッション産業分野において 実務を基礎とした販売から仕入・企画に至る専門的知識と技能を教授。 設置する私立専修学校の名称： ディーズファッション専門学校 服飾・家政専門課程		
分野	課程名	学科名	専門士 高度専門士
服飾家政	服飾・家政専門課程	ファッションビジネス科	平成6年文部科学省 告示第84号 -
修業年限	昼夜	総授業数	講義
2 年	昼間	1,900	760
	演習		
			実習
			実験
			実技
			単位時間
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数
100名	35	3	11
総教員数	14		
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前期 : 4/1~9/30 ■ 後期 : 10/1~3/31 	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■ 成績表 (有・無) ■ 成績評価の基準・方法について 定期試験及び課題提出等で評価し、判定会議により決定する。
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学年始め : 4月8日 ■ 夏季 : 7月25日~8月31日 ■ 冬期 : 12月19日~1月7日 ■ 学年末 : 3月18日 	卒業・進級条件	試験成績・課題提出等による評価により一計の成績を修め、出席率が一定以上であること。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■ クラス担任制 (有・無) ■ 長期欠席者への指導等の対応 担任のカウンセリング、保護者を交えた懇談会の実施等の個別指導 	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 課外活動の種類 関西5校専門学校ロープレ大会参加 ■ サークル活動 (有・無)
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 主な就職先 : アパレルメーカー 小売り・流通業 ■ 就職率 100% ■ 卒業者に占める就職者の割合 86% 	主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> ファッションビジネス能力検定 ファッション販売検定 AFT色彩能力検定
中途退学者の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中途退学者 12名 ■ 中退率 9.8% 平成26年4月1日 在籍者 : 136名 (平成26年4月入学者を含む) 内ビジネス科 43名 平成27年3月31日 在籍者 : 120名 (平成27年3月卒業生を含む) 内ビジネス科 35名 ■ 中途退学の主な理由 経済的に継続できない、進路不一致、学業不振等 ■ 中退防止のための取組 担任・校長を通してのカウンセリングを核に 一人一人のケアを重視している。 		
ホームページ	http://www.dsf.ac.jp/		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

校長直轄下に「教育課程編成委員会」を設置し、企業等の要請を受け止めて、生徒に職業に必要な実践的・専門的な能力の育成を図る。

具体的には基本、各学期初めに「教育課程編成委員会」を開催し、当該期の前の期のカリキュラム内容や授業科目の見直しを図るとともに、企業における人材の専門性に対する動向、新たに必要となる実務についての知識・技術・技能などを把握し、分析を加え、当該期以降のカリキュラムに反映できる組織体制とする。これにより、職業教育の質の担保に取り組むとともに、委員会所属先企業団体に加え、他企業の協力を得、各業種ごとに必要とされる知識・技術・技能を把握し、この内容も合わせて「教育課程編成委員会」で検討していく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

		役職
中島 一博	(株)ヤマトマネキン	代表取締役会長
葛西 順子	(株)ワコール 人事総務本部 ダイバーシティ・キャリア支援室	執行委役員室長
荒川 徹	(株)京都紋付	代表取締役社長
岩崎 靖璋	(株)イワサキ	代表取締役会長
糸井 弘一	協同組合 関西ファッション連合	戦略室特命担当
酒井 明	京都府立朱雀高校	校長
弓場 由紀子	ファッションプロダクション科2年 弓場理紗さんの保護者	
大橋 治子	デイズファッション専門学校	校長
公江 辰朗	デイズファッション専門学校	理事長

教育課程編成委員会の開催頻度

各年度 最低2回開催する。

(開催日時)

第1回 2015年5月20日(水) 10:00~12:00

第2回 2015年8月26日(水) 14:00~16:00

第3回 2016年4月 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- 1) 学校で学んだ知識・技能を「実践の場」で体験することで 理解を深める。又、自分の職業人としての将来を考える一助とする。
- 2) 企業が持つ問題意識や市場の変化を企業と共有し、これらを踏まえた対応策を考えさせる。学校で学んだ知識・技術・技能を使い、実社会で通用するよう提案を考え、制作等を通じて具現化する過程でより実践的な知識・技術・技能にしていく。

科目名	科目概要	連携企業等
企業研修	百貨店をはじめ実際の売場に立ち、販売実習を経験し、店頭での顧客の動きを知る。これらを踏まえて販売の技能・店舗運営力を高める。	大丸京都店、大丸松坂屋セールスアソシエイツ 他
カラーコーディネート	お客様に「色診断」を行うことで 個人個人の特徴や 良い点を引出し、販売・接客につながるレベルにまで技能を高める。顧客の	大丸京都店、大丸松坂屋セールスアソシエイツ
補正修理	洋服の補正修理の基本的な知識、採寸やサイズ合わせなどの技能の学習と 顧客を想定したロールプレイングにより 補正修理の承り方を学ぶ。	(株)ノア

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員は、絶えず自己啓発に努め、担当業務を遂行するため必要な知識・技術・技能の向上を図らねばならない。この一環として、企業・各種団体等との連携を通して教員の組織的な研修機会を確保する。企業等の連携の中で業界における最新技術の開発動向や産業振興の方向性、新産業分野の台頭等を把握、実践的かつ専門的な教員研修プログラムを立案し、企業・各種団体等の協力を得て研修を実施する。

又、指導力向上のため、新任教員を中心に、外部機関にて授業の進め方やカリキュラム作成手法について学ぶほか、各教員に対しては、学生アンケートを活用し、各授業毎の改善点を抽出し、科目担当教員 個々に改善すべき点を「見える化」し、指導を行い、必要な研修を履修させる。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

		役職
中島 一博	(株)ヤマトマネキン	代表取締役会長
葛西 順子	(株)ワコール 人事総務本部 ダイバーシティ・キャリア支援室	執行委役員室長
糸井 弘一	協同組合 関西ファッション連合	戦略室特命担当
酒井 明	京都府立朱雀高校	校長
弓場 由紀子	ファッションプロダクション科2年 弓場理紗さんの保護者	
大橋 治子	デイズファッション専門学校	校長
公江 辰朗	デイズファッション専門学校	理事長

(学校関係者評価の公表方法)

当校のホームページ : <http://www.dsf.ac.jp>

5. 情報提供

(情報景況の方法)

当校のホームページ : <http://www.dsf.ac.jp>

授業科目等の概要

(服飾家政専門課程 ファッションビジネス科)

平成27年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間	単位数	授業方法		
必須	選択必須	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			アパレル商品知識Ⅰ	ファッション商品の種類、素材等の基本的知識を学習する。服飾造形部門における各種検定対策。	1年通	34		○		△
○			アパレル商品知識Ⅱ	1年次に学んだ商品知識の復習と、2015年度のトレンドアイテム・デザイン・テキスタイルの商品知識を学ぶ。(イワサキ・ヒランニット工場見学会含む)	2年通	22		○		△
○			アパレル素材Ⅰ	ファッション商品の素材を中心に、その扱い方、クレーム対応法、販売への活かし方の知識の習得。	1年通	32		○		
○			アパレル素材Ⅱ	ファッション商品の化学繊維素材と皮革素材を中心に、その扱い方、クレーム対処法の習得。	2年通	34		○		△
○			コーディネート	イメージマップ・商品マップを作り、商品を幅広く理解し、コーディネート能力の向上を図る。	1年前期	77		○		△
○			服飾造形Ⅰ	基本的な洋服のパターンとその縫製方法の実習と洋服の構造の学習。	1年後期	91		△		○
○			服飾造形Ⅱ	基本的な洋服の作成(シャツと裏付ベスト)を通して、洋服の構造や製作にかかわる手間を学び、見た目だけではわからない服作りの知識を習得する。	2年通	77		△		○
○			ファッションドローイング	ファッションアドバイザーに必要な平面デザインによりアイテム・ディテールの描き方の修得。	1年前期	32		△		○
○			カラーコーディネート	人と衣服の調和・色彩心理や色彩計画の実習。AFT色彩検定3級取得対策。(必修)	1年前期	48		○		
○			カラーコーディネートⅡ	前期:カラーコーディネート演習。後期:AFTカラーコーディネート2級対策	2年通	61		○		△
○			ファッション業界情報	国内外のコレクション情報からファッショントレンドの動向を把握。人気のブランド・企業情報、ワールドトレンド情報、原宿・渋谷等ファッション・タウン情報等の学習。	1・2年通	40		○		
○			セールストレーニングⅠ	プロの接客技能・基礎知識の修得をロールプレイングによる実技指導を交え演習形式で学習する。	1年通	51		△		○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間	単位数	授業方法		
必須	選択必須	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			セールストレーニングⅡ	前期：パーソナルカラー、骨格診断などの知識を活かしたスタイリング提案の実践。後期：個別提案のロールプレイング。	2年通	77		△		○
○			補正修理	洋服の補正修理の基本的知識、技能の学習とロールプレイングにより補正修理の承り方を習得する。(成績評価はセールストレーニングⅡと合わせて)	2年後期	10		○		△
○			ファッション販売Ⅰ	ファッション販売関連の基礎的知識・技能を学ぶ。ファッション販売能力検定3級取得対策。(必修)	1年通	48		○		
○			ファッション販売Ⅱ	ファッション業界知識と接客知識の習得。ファッション販売検定2級対策。	2年通	26		○		
○			ビジネスマナー	社会人としての一般常識とマナーの習得。就職対策としての”魅力ある話し方”、社会人としての一般常識とマナーの修得。	1・2年通	26		○		
○			ファッションビジネス概論	ファッションビジネス概要の理解と基礎知識を学ぶ。ファッションビジネス検定3級取得対策。(必修)	1年後期	48		○		
○			ファッションマーケティング	顧客分析、商品分析(志向、テイスト、マインド等)等の基礎知識を店舗リサーチ等を交えて深く学習する。	1年後期	48		○		
○			ブランド企画(商品企画)	新規ブランドの開発手順を学習。コンセプトシート、ビジュアルマップの作成、プレゼンテーションの演習を行う。	2年通	51		○	△	
○			リテールマーチャンダイジング	小売店の経営に関する全般的(販売・サービス管理・仕入れ管理・財務管理など)知識、ノウハウの学習。	2年通	34		○	△	
○			ショップ運営	ショップにおけるリーダーシップなどヒューマンスキル、アカウンティングスキルの学習。	2年通	29		○	△	
○			52週マーチャンダイジング	年間52週間の品揃え計画、販売計画の学習を演習形式で実施する。	2年通	48		○	△	
○			VMD	52週Mdingの授業と連動させ、効果的なシーズンV・M・Dの知識、技能を習得する。	2年通	10		○	△	
○			ディスプレイ	ディスプレイの基本的知識・技能を学習し、コーディネート提案を実習する。	1年通	38		○	△	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間	単位数	授業方法		
必須	選択必須	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			店舗デザイン	店舗調査を通し、立地条件・ターゲットをふまえた新しい店舗の企画力を養う。	2年後期	32		○	△	
○			PC操作実習	Windowsの基本ソフト、エクセル・フォトショップ・イラストレーター等の操作を習得。	1・2年通	115		△		○
○			コミュニケーション	ロジカルシンキング、ロジカル話法、ディベート技法の学習をグループ討議等の手法を修得する。	1年後期	32		○		
○			修了制作	ショッピングセンターを調査・リサーチし、顧客傾向や店舗構成を読み取り、SCの戦略や狙いを発表する。	1年後期	106				○
○			卒業制作	新規性の高いファッションブランドのショップ企画。マーケティング企画→VMD→プレゼンの一連の流れを制作・発表。	2年後期	189				○
○			一般教養	就職に役立つ高校までの基礎学力(英・国・数・政治・経済等)の補完授業。	1・2年通	42		○		
○			英会話	販売シーン、店内ご案内シーンなど、シーンを絞り、その中での必要会話を学習する。	1・2年通	72		○		
○			企業研究Ⅰ	就職活動をスタートするのに必要な企業やブランドの概要や特徴をリサーチ等を交えて学習する。	1年後期	16		○	△	
○			企業研究Ⅱ	就職対策授業。受験企業の分析を行い、エントリーシートの記入方法、面接での受け答えの仕方などの強化を図る	2年前期	26		○	△	
○			企業研修	1年は百貨店のプロパー売場に立ち、販売実習を経験する。 2年は百貨店以外のプロパー売り場に立ち、客層や商品の違いによる店舗オペレーションや販売サービスの違いを学ぶ。	1・2年通	130				○
○			就職講義	就職試験に必要な知識、模擬面接、企業の就職フェアへの参加。	1・2年通	48		○		△
合計				科目数	36科目	時間数	1,900時間			